



Yomeishu



第95期 中間株主通信

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)



養命酒製造株式会社

証券コード：2540

生活者の豊かな健康生活への
さらなる貢献を目指して

経営理念

生活者の信頼に応え、
豊かな健康生活に
貢献する

中期経営計画
(平成24年4月～平成27年3月)

基本方針

持続的成長に向けた
事業構造の革新



代表取締役社長

塩澤 太朗

平成24年12月

平素は格別のご高配を賜わり厚くお礼申しあげます。ここに、養命酒製造株式会社の第95期上半期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の営業の概況をご報告いたします。

第95期の上半期の業績について

上半期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として、緩やかな景気の回復傾向が見られたものの、欧州債務問題による海外景気の下振れの懸念や円高の長期化等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。当社の関連業界におきましても、業種・業態を越えた企業間競争の激化や生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とし、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」や「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」を主要戦略とする中期経営計画（平成24年4月から平成27年3月まで）の各施策に取り組んでおります。また、平成25年7月の事業開始に向け、埼玉県鶴ヶ島市にある社有地を有効活用した太陽光発電事業の準備に着手いたしました。

上半期の業績といたしましては、「養命酒」の売上が堅調に推移したことにより、売上高は5,716百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は860百万円（前年同期比19.2%増）、経常利益は994百万円（前年同期比16.3%増）、四半期純利益は650百万円（前年同期比76.7%増）と増収増益となりました。

海外景気の下振れ懸念・円高の長期化等
厳しい経営環境



中期経営計画

「持続的成長に向けた事業構造の変革」
（平成24年4月から平成27年3月まで）

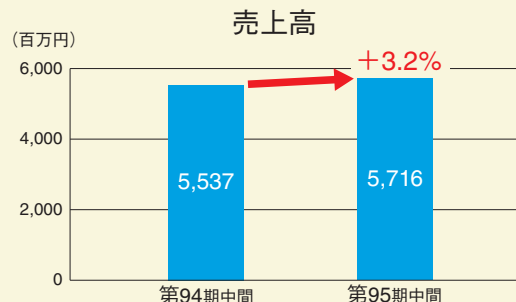
主要戦略

- ・新規事業領域の拡大と成長性の確保
- ・養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築



■「養命酒」の売上は堅調に推移

■売上高	前年同期比 3.2%増
■営業利益	前年同期比19.2%増



セグメントの状況

●養命酒関連事業●

養命酒関連事業につきましては、堅調に推移した「養命酒」の売上に「ハーブの恵み」、「家醸本みりん」、「ドリンク剤」、「ミネラルウォーター」、インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」の売上を合算いたしまして、売上高は5,452百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

主力商品「養命酒」

- ・効率的な販売促進活動を展開
- ・各種広告媒体において「『女は7の倍数、男は8の倍数』の節目年齢における養生」を共通のメッセージとして訴求
- ・広告と連動した店頭における販売促進活動を強化

海外

- ・各国の市場環境に即したマーケティング活動の展開や効率的販売促進活動
- ・「養命酒」の理解と知名度の向上
- ・「ハーブの恵み」を商品名「MEGUMI」として輸出を開始し、現地ニーズの把握に着手

「ハーブの恵み」

- ・手軽に楽しめる缶タイプ「ハーブの恵み スパークリング」を加え、「香りがおいしいお酒」という酒類における新たな価値を訴求
- ・テレビ、ラジオ、雑誌、インターネット、交通広告等によりプロモーションを展開
- ・試飲会、サンプリング等を実施した他、店頭における露出向上に注力

●施設運営事業●

「くらすわ」の売上に駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」の売上を合算いたしまして、施設運営事業の売上高は218百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

「くらすわ」

- ・生活者の皆様のニーズや季節に応じた商品開発
- ・信州の素材を活かした料理メニューの充実やサービスの向上
- ・開業2周年イベント、諏訪湖畔の立地を活かしたイベント等を開催
- ・期間限定での首都圏における催事出店、オリジナル商品の通信販売、小売店への卸売等の販売チャネルの拡充

●その他●

不動産賃貸事業の売上高は、本店ビルのテナント賃貸収入減などにより、45百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

株主の皆様へメッセージ

当社は、平成24年4月からスタートした中期経営計画の下、その初年度として「養命酒」の安定的な販売堅持に引き続き取り組むとともに、将来の成長に向けて必要となる新商品開発等への積極的な投資や、太陽光発電事業に向けた準備など中期経営計画の達成を目指し各施策に取り組んでまいります。

今後もお客様の満足と信頼を一番に考え、健康生活に貢献できるよう、「養命酒」をコアとした、高い安心と社会に求められる有用な商品やサービスの提供に努め、コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス体制の更なる強化を図るとともに企業の社会的責任を果たし、株主の皆様のご期待にお応えする所存であります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

中期経営計画の具体的な施策としては、「ハーブ関連、酒・食品商品開発」、「くらすわ」取扱商品開発、「海外向商品開発」の各商品開発の強化と、「販売チャネルの拡張」、「海外市場の領域拡大」により、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」を実現し、持続的成長を目指してまいります。今期は、太陽光発電事業（平成25年7月事業開始予定）の準備や通販サイトのリニューアル（平成24年11月開設）、海外向け「ハーブの恵み」の輸出（平成24年6月輸出開始）などに取り組んでおります。

今後も、「薬用養命酒の効率的販売促進活動」、「収益構造の一層の改善」により、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」を実現し、収益性の向上を目指してまいります。これらの取組みにより、中期経営計画の最終年度である平成27年3月期において、売上高130億円以上、営業利益率10%の維持、「養命酒」以外の売上高比率15%以上の実現を目指してまいります。

中期経営計画の具体的な施策

「持続的成長と収益性の向上」

ハーブ関連、酒・食品商品開発

「くらすわ」取扱商品開発

海外向商品開発

販売チャネルの拡張

海外市場の領域拡大

「薬用養命酒」の
効率的販売促進活動

収益構造の
一層の改善

平成24年3月期
売上高 115億円
営業利益率 12%
「養命酒」以外
売上高比率 8%

平成27年3月期目標
売上高 130億円以上
「養命酒」 110億円
「その他」 20億円
営業利益率 10%維持
「養命酒」以外
売上高比率 15%以上

新規事業領域の拡大と
成長性の確保

養命酒関連事業による
安定的収益基盤の構築

持続的成長

収益性の向上

太陽光発電事業

埼玉県鶴ヶ島市の埼玉工場跡地（平成18年3月末閉鎖）において太陽光発電事業を開始いたします。中期経営計画の戦略「保有資産の見直しと積極的な活用」と「社会的使命への取組み」の施策の一つとして取り組んでまいります。

現在の計画では、埼玉工場跡地約86,000㎡のうち約40,000㎡を使って約10,000枚のソーラーパネルを設置し、発電した電力の全量を「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を利用して電気事業者へ売電するものです。

年間予想発電量は、約2,625千kWh。試算すると一般家庭400～500世帯分の年間電力消費量、年間CO₂削減効果は約945tとなります。電力供給懸念への対策や環境への負荷低減という社会貢献にも資すると考えております。

平成25年7月の事業開始に向けて準備を進めてまいります。

海外事業



当社は長きにわたって東南アジアを中心として「養命酒」を輸出してまいりましたが、中期経営計画の施策の一つとして「海外市場の領域拡大」に取り組み、今期は「ハーブの恵み」の名称を「MEGUMI」とし、シンガポールに輸出を開始いたしました。

独自性のある東洋ハーブのリキュールが海外市場で受け入れられるか、現地ニーズの把握に努めてまいります。



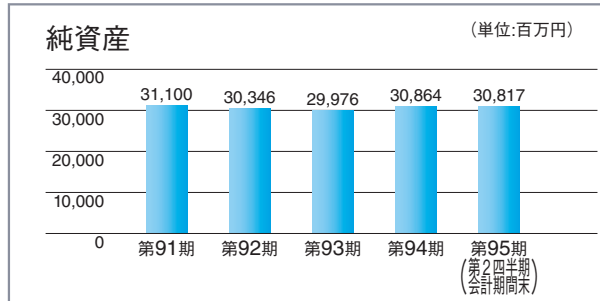
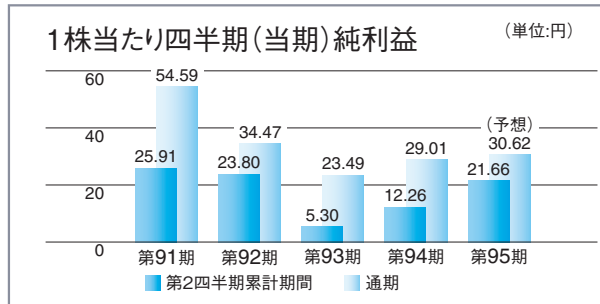
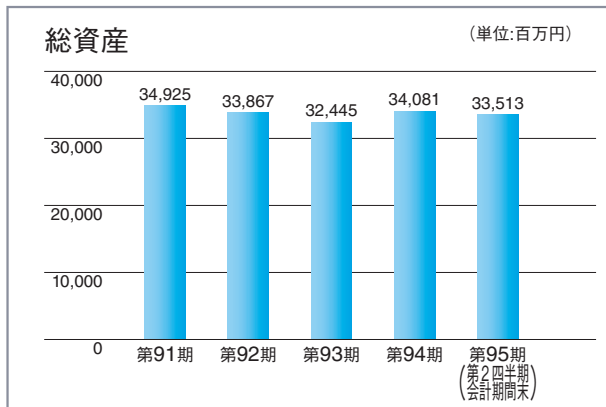
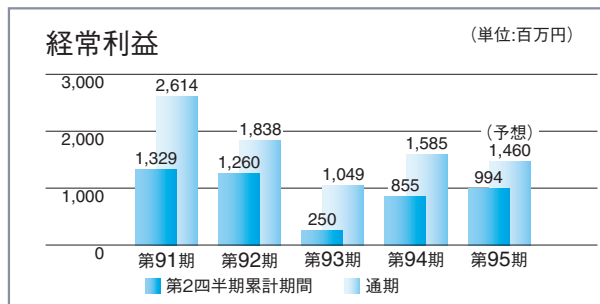
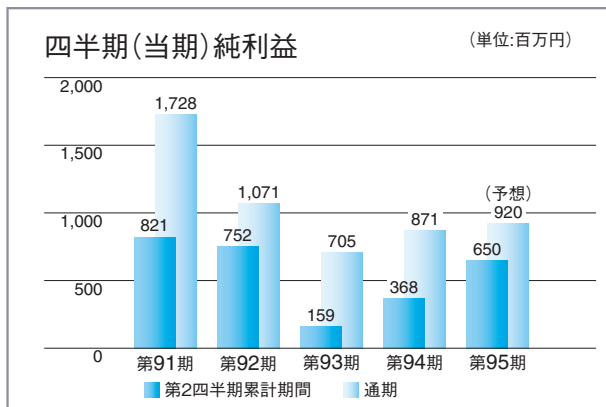
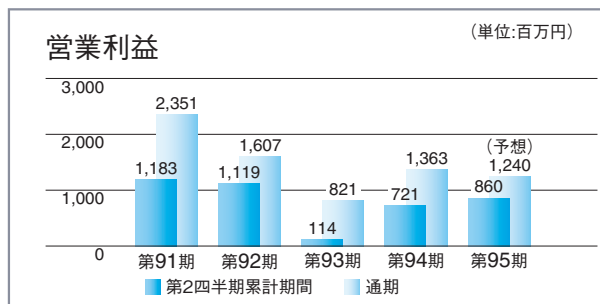
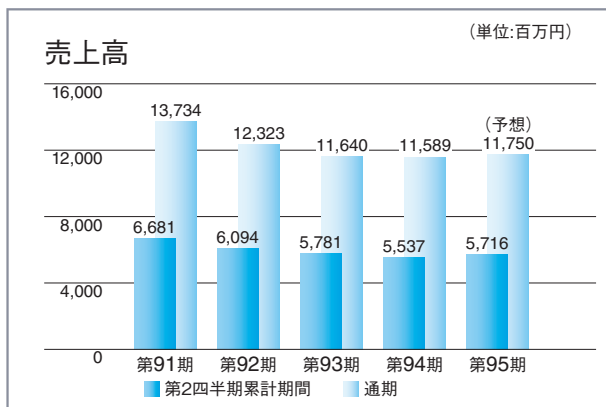


平成24年11月より、インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」をリニューアルし、Yomeishuオンラインショップをオープンいたしました。

取扱商品も増加し、従来の「養命酒本舗」で販売してまいりました健康食品やサプリメントをはじめ、信州の老舗企業・生産者の方々と共同開発した「くらすわ」ブランドのオリジナル商品、当社がプロデュースしたオリジナル豚「信州十四豚」のソーセージやベーコン・生ハム等、こだわりの商品を取り揃えました。

Yomeishu オンラインショップ

<http://www.yomeishu-online.jp/>



四半期貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期 会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産	8,772	8,831
固定資産	25,309	24,682
有形固定資産	6,841	6,694
無形固定資産	41	28
投資その他の資産	18,425	17,959
資産合計	34,081	33,513
負債の部		
流動負債	2,241	1,732
固定負債	975	964
負債合計	3,217	2,696
純資産の部		
株主資本	30,386	30,495
資本金	1,650	1,650
資本剰余金	676	676
利益剰余金	30,943	31,053
自己株式	△2,883	△2,884
評価・換算差額等	478	321
その他有価証券評価差額金	478	321
純資産合計	30,864	30,817
負債純資産合計	34,081	33,513

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

ポイント

貸借対照表

【総資産】 前期末に比べ567百万円減少し、33,513百万円となりました。これは主に現金及び預金が555百万円増加した一方で、債券の償還により有価証券が797百万円、減価償却により有形固定資産が147百万円、保有株式の時価評価の減少により投資有価証券が150百万円それぞれ減少したことによるものです。

【負債】 前期末に比べ520百万円減少し、2,696百万円となりました。これは主に未払法人税等が116百万円、未払費用が220百万円それぞれ減少したことによるものです。

【純資産】 前期末に比べ46百万円減少し、30,817百万円となりました。これは主に四半期純利益650百万円の計上と配当金540百万円の支払いにより利益剰余金が110百万円増加したことと、その他有価証券評価差額金が156百万円減少したことによるものです。

損益計算書

【売上高・利益】 「養命酒」の売上が堅調に推移したことにより、売上高は5,716百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は860百万円（前年同期比19.2%増）、経常利益は994百万円（前年同期比16.3%増）、四半期純利益は650百万円（前年同期比76.7%増）と増収増益となりました。

キャッシュ・フロー計算書

【営業活動によるキャッシュ・フロー】 営業活動の結果増加した資金は、278百万円（前年同期比66.3%減）となりました。これは主に税引前四半期純利益991百万円、減価償却費282百万円、売上債権の増加額185百万円、未払費用の減少額213百万円、法人税等の支払額429百万円によるものです。なお、前年同期に比べ減少しているのは、主に法人税等の支払額が増加したことによるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】 投資活動の結果減少した資金は、984百万円（前年同期比748.9%増）となりました。これは主に定期預金の預入による支出（預入と払戻の純額）800百万円と有形固定資産の取得による支出152百万円によるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】 財務活動の結果減少した資金は、538百万円（前年同期比0.0%増）となりました。これは主に配当金の支払いによるものです。

四半期損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高	5,537	5,716
売上原価	1,871	1,889
売上総利益	3,665	3,827
販売費及び一般管理費	2,943	2,966
営業利益	721	860
営業外収益	144	142
営業外費用	10	8
経常利益	855	994
特別利益	—	0
特別損失	297	4
税引前四半期純利益	557	991
法人税、住民税及び事業税	193	314
法人税等調整額	△3	26
四半期純利益	368	650

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

科目	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	826	278
投資活動による キャッシュ・フロー	△115	△984
財務活動による キャッシュ・フロー	△538	△538
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	171	△1,244
現金及び現金同等物の 期首残高	2,829	3,566
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,001	2,321

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

（平成24年9月30日現在）

社名	養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO., LTD.
本店所在地	〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340 URL http://www.yomeishu.co.jp/
事業所	大阪支店、福岡支店、駒ヶ根工場、 中央研究所、施設運営事業部（くらすわ）
設立	大正12年（1923年）6月20日
資本金	16億5,000万円
上場	東証市場第1部、名証市場第1部
事業内容	養命酒、酒類及び医薬品等の製造・販売 飲食店及び売店の経営 不動産の賃貸
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	268名

（平成24年9月30日現在）

役員	代表取締役会長	川村 昌平
	代表取締役社長	塩澤 太朗
	常務取締役執行役員	竹村 彰司
	常務取締役執行役員	田中 英雄
	取締役執行役員	吉松 敬雄
	取締役執行役員	大森 勉
	取締役執行役員	宮下 久宜
	取締役執行役員	神林 敬
	常勤監査役	矢部 與四男
	常勤監査役	中川 博之
監査役	笠原 孟	
監査役	井出 正一	

■ 上位10名の株主（平成24年9月30日現在）

株主名	持株数
大正製薬ホールディングス株式会社	6,600千株
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,549
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,487
株式会社八十二銀行	1,300
トーア再保険株式会社	1,096
大同生命保険株式会社	603
株式会社三井住友銀行	529
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	489
キッコーマン株式会社	442
株式会社十八銀行	423

（注）当社は、自己株式を2,956千株保有しておりますが、上記上位10名の株主からは除外しております。

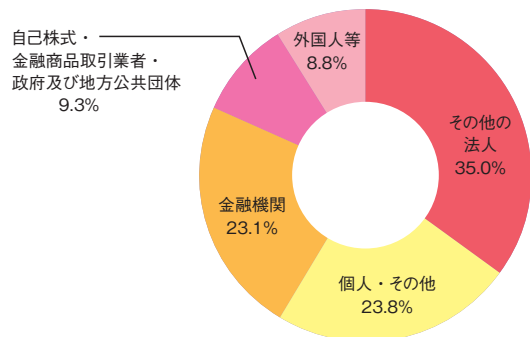
■ 株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告掲載方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.yomeishu.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■ 株式の状況（平成24年9月30日現在）

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	3,174名

■ 所有者別株式分布状況（平成24年9月30日現在）



■ 株式に関するお手続きについて

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様 口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ります。 特別口座に当社株式が記録されている株主様 左記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
未受領配当金の支払い	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。



養命酒製造株式会社
東京都渋谷区南平台町16番25号
TEL : 03-3462-8111 (代表) FAX : 03-3462-8340